



学校経営理念：共に高まり合う熊三小 学校文化の創造

# Kumasan

令和2年9月28日  
学校だより 10月号  
熊野第三小学校  
校長 和田 愛  
HP <http://kuma0316.ec-net.jp>

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、残暑もおさまり過ぎやすくなってまいりました。色々なことが今まで通りとはいかない今年度も、早いもので折り返し地点となります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力をいただき、6月に学校が再開し本日まで、学びを止めることなく教育活動が進められていることに心より感謝申し上げます。これからは、感染予防対策に気を配りながらも、児童の姿を実際にご覧いただけるように準備を進めてまいります。

## ☆ 「考える」「対話する」道徳の時間を目標して

今年度も道徳について授業研究を進めています。先日、関西福祉大学の新川先生をお迎えし、5年2組の児童が「おばあちゃんが残したもの」という資料をもとに「命」について考え合いました。先生や友達の話をしつくりと聞き、よく考えている姿が印象的な授業でした。ご家庭でも、是非、お子様と語り合う時間を楽しんでいただければと思います。



## ☆ 学校での学びと家庭での学びをつなぐ



これは、家庭で学習した新出漢字について、学校で書き順や定着状況をゲーム的な要素を取り入れ確認をしている様子です。このように、2学期から少しずつ、発達段階や学級の実態に応じて、学校での学びと家庭での学びをつなぐことに取り組んでいます。学校でしかできない学びをこれまで以上に大切にしていくことと併せて、家庭での学習の進め方を丁寧

に指導しながら、児童の主體的に学びに向かう力も育んでいきたいと考えています。

## ☆大切にしたい 熊三小ならではの学び

熊野町では1年生から書を学んでいます。体験を通して、熊野町の文化・伝統に触れていくこの低学年書道科は大変意義のある教育だと感じています。佐城先生の書を愛し大切に思う気持ちが児童にも伝わり、児童にとって書道の時間は、心静かに文字や自分自身と向き合う大切な時間となっています。凜とした態度で書に向かう姿は、学年が進んでも継続しています。



また、本校では、高山先生から学ぶ歌唱指導を中心にした音楽も大切な時間となっています。マスクをし、大きな声を出すことはできませんが、音やリズムに込められた作曲家の思いも感じ取りながら、実に柔らかい歌声が教室に響いています。全校児童の声揃ったらどんなに素敵な歌声になるだろうかと、皆で歌える日が早く来てほしいと願うばかりです。

## ☆読書の秋です

今年度、図書の寄贈が複数あり、学校図書が充実しました。創価学会とソロプチミストから図書の寄贈をしていただきました。寄贈していただいた図書を図書室の書架や学級文庫に加えることで子供たちの読書の幅も広がっています。

10月には図書委員会が企画・運営をする“図書まつり”も始まります。読書の楽しさを知らせ、自分から相手に本の楽しさを伝える活動を通して、日常的に子供たちが読書活動に親しむことができるようにすることがねらいです。図書まつりは、10月19日（月）～11月6日（金）の大休憩に行います。図書まつりでは、「くま3ビンゴ」や「図書室キャラクターコンクール」を計画しています。「くま3ビンゴ」のカードには、日本の昔話や世界の昔話に親しむ欄・ポップ作りの欄が入っています。そして、「図書室キャラクターコンクール」では、オリジナルキャラクターを募集して、優れた作品を表彰します。これらの活動を通して本好きの子供が増えればよいと思います。



## ☆幼稚園、保育所の先生方に見ていただきました



9月17日に町内の幼稚園、保育所の先生方に1・2年生の授業を見ていただきました。「幼稚園、保育所の先生方が授業の様子を見に来られるよ」と1年生に伝えると、みんな大喜びでした。参観日当日は、「本当に〇〇先生来るの？」と半信半疑の子供たちでしたが、懐かしい先生方の姿を見付けると飛びついて挨拶をしていました。

1年生は国語、2年生は算数の授業でした。1年生は音読劇の発表だったので特に張り切っていました。

聞いてほしい相手、見てほしい相手がいるとこんなにも力を発揮するのと思うくらい、子供たちは身振り手振りの動作を加えながら、生き生きと物語の登場人物になりきって音読を発表しました。幼稚園、保育所の先生方も子供たちの成長の様子に大変喜ばれていました。

今回の授業参観は子供の育ちと学びをつなぐ幼保小連携の一つですが、就学前の子供たちの育ちを大切にしながら、小学校での学びを丁寧に積み重ねていきたいと思います。



## ☆トイレ洋式の進捗状況

中校舎トイレの工事が少しずつ進んでいます。壁等のハツリ工事や電気系統の工事が一段落し、今は水道工事やモルタル塗りの工程に入っています。子供たちが学校にいない放課後や土日の工事が中心となるため、工事が完了して使用できるようになるのはまだしばらくかかりそうです。子供たちには不自由をかけますが、明るく快適なトイレの完成を楽しみにしたいと思います。